



年間2万6千人が利用する 新宿区立高齢者いきいの家 「清風園」が廃止に？

※2「新宿区公共施設等 総合管理計画」とは

総務省の要請に従い区が策定。区民の財産である区有施設を①不動産活用し、②統廃合・集約化で区施設を22%（総床面積で）削減し、③施設使用料の値上げや有料化をすることが示されている。党区議団が問題点を「『新宿区公共施設等総合管理計画(素案)』の問題を探る」と題し2016年12月にパンフレット化。党区議団HPよりダウンロード可能。

新宿区は、「新宿区公共施設等総合管理計画」(※2)に基づいて「清風園」を廃止するとしています。廃止の理由は①建物の築年数の経過と大規模な設備修繕工事が必要である②利用者が直近6年間で3割近く減少し、特定の利用者が利用している③周辺地域には清風園と同様の機能を有する多数の高齢者活動・交流施設、公衆浴場があるからと言いますが…。

新宿区はなぜ廃止を？



※1「清風園」とは

1962年開設、65年東京都より区に移管。中落合1丁目7番26号にある高齢者の活動施設。集会室、大広間、談話室、男女別の浴室があり、入浴の他、カラオケや囲碁等交流ができる。年間利用者は26506人(2018年度)。

2019年12月6日、新宿区は、「新宿区立高齢者いきいの家清風園(※1)の廃止及び廃止後の跡地活用について」の方針を区議会に報告し、「清風園」を2021年9月末に廃止するとなりました。

党区議団緊急アンケートに 廃止は困る！ 残して！の声

日本共産党区議団は、実情を把握するため12月23日～25日、利用者に緊急アンケートを行ったところ、短期間に87名の方から回答がありました。以下、寄せられた声を紹介します。

- 「こないない施設があると、もっと早く知れたかった。もっと区民に知らせれば利用者は増える。廃止は残念」●「妻が亡くなってから、こちらに来るようになってしまった。清風園に通うようになって、お話をする相手ができなくなりました。なくなったら困ります」●「毎日来ています。自宅の近くにお風呂屋さんがあります。夜暗いときに行くのは怖い」●「地域交流館は、男女入れ替えて入れる時間が限られていて困ります」●「西新宿はお風呂屋さんがなくて困っています」●「百人町から毎日通っています」●「公衆浴場は1回470円。無料入浴券はわずか月4回で負担が大きいです」●「回答者は、バスや自転車、北新宿や西新宿、百人町等、遠方からいらっしゃる方も目立ちました。」

跡地にグループホーム予定 使いづらく適地は他にも

区は廃止後の跡地に、民設民営の障害者グループホームを建設する(2025年4月目途)としています。敷地面積2千5百㎡余に対し、建築できる面積は425㎡しかありませんし、傾斜地のためエレベーター等を敷地内に設置しなければならず、相当の時間と費用がかかります。計画を知った障害者関係の事業者の方からは、「定員20

人は、採算を取れるか厳しく、手を上げづらい」との声もあります。日本共産党区議団は、障害者グループホームの建設については、以前から区内の公有地の活用を提案しており、例えば、西新宿の住宅展示場となっている都有地であれば、平坦地で施設規模も確保でき、オリンピック・パラリンピック後、速やかに活用できます。

「廃止」計画は止められます！ 区の説明会にご参加を

「廃止」を決めるのは区議会です。「廃止」条例はまだ区議会に提出されていません。区が行う説明会に参加し、区民の生の声を届けましょう！



区の地域説明会に参加して、「存続を！」の声を届けましょう！

- 1月18日(土) 15時～16時 清風園
- 1月19日(日) 10時～11時 落合第二地域センター

【新宿区立高齢者いきいの家清風園 ご案内】
●西武新宿線中井駅・下落合駅より徒歩8分
●都営大江戸線中井駅より徒歩10分
●西武バス 中落合停留所下車徒歩7分



【新宿区立落合第二地域センター ご案内】
●都営大江戸線 落合南長崎駅から徒歩5分
●都バス・関東バス 落合南長崎駅前 停留所 下車徒歩5分



(↑地図は区のチラシより)

日本共産党新宿区議会議員団ニュース・清風園廃止問題特集

発行：日本共産党新宿区議団 TEL:5273-3551 FAX:3200-1474
2020年1月号 新宿区歌舞伎町1-4-1新宿区役所5F info@jcp-shinjuku.com